

各関係機関の長 殿

函館工業高等専門学校長
岩 熊 敏 夫 (公印省略)

教員の公募について (依頼)

拝啓 時下ますます御清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、このたび本校では下記により環境都市工学科の教員を公募することになりました。

つきましては、関係者に周知していただくとともに、適任者を御推薦くださいますようお願い申し上げます。
敬具

記

1. 職名及び人員：助教 1名
2. 所属学科： 環境都市工学科
3. 専門分野： 環境都市工学の環境、計画、計測などのうちいずれかの分野において研究業績があり、将来は計測技術、GIS、リモートセンシングの研究へと展開させる意欲のある方
4. 担当予定教科：測量学・測量実習、その他環境都市工学科および専攻科環境システム工学専攻関係の講義と学生実験、本科卒業研究、専攻科特別研究 等
5. 応募資格：
 - (1) 高専における教育、研究、学生指導に理解と熱意のある方
 - (2) 博士の学位を有するか取得見込みの方、技術士等の国家資格を有する方
 - (3) 当該専門分野に精通し、本校の運営等に協調して参画できる方
 - (4) 着任時における年齢が32歳以下の方が望ましい。
 - (5) 本校は男女共同参画を推進しておりますので、女性の方の応募を歓迎します。
6. 採用予定日： 平成24年 4月 1日(日)以降のできるだけ早い時期
7. 応募期限： 平成24年 2月29日(水)
8. 提出書類：
 - (1) 履歴書(本校様式、写真添付)
 - (2) 研究業績目録(本校様式)
 - (3) 研究業績概要(A4、1200字以内でこれまでの研究業績全般について記述のこと。書式自由)
 - (4) 主要論文3編の別刷 3部(コピーでも可)
 - (5) 教育、学生指導および管理運営等に関する実績(本校様式)
 - (6) 高専における教育、研究、学生指導等に関する抱負(A4、2000字以内、書式自由)
 - (7) 推薦状1通または照会先(氏名、所属、住所、電話、FAX、E-mailアドレス等)2名※(1)、(2)および(5)の書式は、下記公募書類のホームページからダウンロードできます。
9. 問い合わせ先：

〒042-8501 北海道函館市戸倉町14番1号
函館工業高等専門学校 環境都市工学科教授 澤村 秀治
TEL & FAX 0138-59-6489(直通), E-mail: sawamura@hakodate-ct.ac.jp

高専は業務内容において大学とは異なる点がありますので、十分ご理解の上にご応募下さい。
なお、本校の概要、業務内容および公募についての詳細は、下記ホームページをご覧ください。
応募書式は、公募ホームページからダウンロードできます。
本校ホームページ：<http://www.hakodate-ct.ac.jp>
公募ホームページ：<http://www.hakodate-ct.ac.jp/~w-z/koubo.htm>
※ 独立行政法人化により、地方公務員からの応募の場合は、従前の取扱いとは異なります。
退職手当、賞与、休暇等については、民間企業からの採用と同様の取扱いとなりますので、特にご注意下さい。
10. 書類提出先：

〒042-8501 北海道函館市戸倉町14番1号
函館工業高等専門学校 校長 岩熊 敏夫
書類提出に関する連絡先： 函館工業高等専門学校 総務課総務事務グループ(人事担当)
TEL: 0138-59-6313(直通) FAX: 0138-59-6310

※ 封筒に「環境都市工学科教員応募」と朱書きの上、書留で郵送願います。
11. 選考方法
 - (1) 書類審査
 - (2) 面接(書類審査後、連絡いたします。なお面接のための旅費は自己負担となります。)
 - (3) 結果通知(決定後、速やかに行います。)

函館高専の教員が携わる校務内容の概略

本校は、本科（5年）1,000人に加えて専攻科（2年）40人の定員をもつ高等教育機関です。

高専はその教育目標や学生の年齢層（本科：15～20歳、専攻科：20～22歳）の幅広さなどから、大学や高等学校とは本質的に異なる点があります。高専の教員は、教育、研究、学生の生活指導などすべてに対して、情熱を持って積極的に努力する姿勢が求められます。ここでは、函館高専の教員の校務について、認識をさらに深めていただくために、その主なものを記します。

（１）授業

環境都市工学科教員の担当授業時数は、平均で講義が週8時間程度、実験実習や卒業研究などが週8時間程度になります。定期試験は年4回あり、前期末と学年末には成績不振学生に対して特別指導を行うなど、全員合格を目指して指導する必要があります。実験実習科目に関しては実験指導とレポート添削指導が非常に重要です。また、年度末などに学生による授業評価を受け、教育方法の改善に継続的に取り組むことが求められています。

（２）卒業研究・特別研究指導

卒業研究は、本科における教育の集大成として非常に重要な役割を持ち、また、教員と学生の密接なつながりの中で成り立つ科目ですので、より一層、教員の指導力が要求されます。教員一人当たり2～5人の学生を指導します。また、専攻科生に対しては、本科の卒業研究に相当する特別研究があり、教員一人あたり1～2名の学生を担当します。特別研究では、研究成果をベースに学位授与機構への申請手続きなども、担当教員が指導することになります。

（３）研究

高専の教員は、教育面や学校運営への参画のみならず、研究面での業績も求められます。研究に対する意欲的な姿勢と成果が学校全体の教育研究面の活性化を促し、さらには地域社会への貢献につながることを期待されています。

（４）学級担任

環境都市工学科の教員には、第1～第5学年の学級担任をしていただくこととなります。学級担任は、一学級40人程度の学生への勉学や生活指導など、学生生活全般にわたるきめ細かな指導が強く求められます。例えば、体育祭や高専祭など各種行事での指導、学生への個人面接や父母との懇談なども重要な職務となっています。また、4年生については学外実習の指導、見学旅行の引率指導、5年生については就職・進学といった進路指導があります。

（５）各種委員会

教務委員会、学生委員会、寮務委員会をはじめ、各種の委員会があります。学級担任との兼務や、複数の委員会に所属することもあります。委員会に所属した場合には、多岐にわたる仕事をこなすことが求められます。

（６）クラブ顧問

クラブ顧問として日常的な指導をはじめ、運動系の場合には、高専体育大会（地区大会・全国大会）の運営や高体連などの各種大会および練習試合の引率、合宿時の指導などがあります。また、文化系でもロボットコンテストでは、夜間残留時の監督など特別の体制が組まれることがあります。

（７）学寮の宿日直

本校では、原則として、60歳未満の全教員に学寮の宿直と日直（日直は土・日・祝日のみ）が割り当てられます。寮務委員以外は年数回の割り当てですが、平成14年度から女子寮も設置され、200名近い男女寮生を指導するこの職務は、本校教員の重要な教育業務の一つとされておりま

（８）地域貢献

本校では、共同研究、受託研究、公開講座、出前講座など様々な形で地域連携活動を展開しています。地域社会からも様々な形で本校に対する要望が寄せられます。地域連携活動が学生教育へ及ぼす良い効果に加え、地域に根ざした高専としての存在価値を高めるためにも、高専教員には積極的に地域に対して貢献する姿勢が要求されます。

（９）学科会議

ほぼ、週一回のペースで学科会議が開催されます。学科内外の情報交換、学科行事の提案、学校運営に対する学科意見の集約など、重要な会議です。